

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 章佑会	代表者	馬場 康雄	法人・ 事業所 の特徴	法人理念（「あらゆる人に生きる夢と勇気と希望を提供する」）のもと、高齢者、障害者、また地域のあらゆる人が住み慣れた地域で生き生きと安心して生活をしていただけるよう、その方の状態や希望に合わせて「通い」「訪問」「宿泊」を組み合わせたサービスを提供し可能な限り在宅生活を継続できるよう支援します。
事業所名	やすらぎガーデン・ 石神井台	管理者	齋藤 維彦		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	5人	0人	0人	1人	0人	3人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 今回気づいた「できていないこと」を改善計画を元に具体的な計画を立てて順次取り組みます。また運営推進会議において進捗状況などを公表し地域の方と一緒に考えていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の共有や業務の見直し等は全体的に取り組むこともでき改善に向かっていると感じる。しかしながらアセスメントシートやエコマップなどの作成まで取り組むことができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 改善計画を全体で取り組んでいるようで前に進んでいると感じます。 地域の中での相談できる場としてガーデンがあってほしい。民生委員も担当区域でないと施設のことを知らない人が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所評価・外部評価を元に勉強会を行い改善計画の進捗状況や確認等の共通意識を高めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 玄関前のベンチを休憩スペースとして地域の方に開放するなど、呼びかけ発信を行い、認知度の向上や入りやすい環境作りを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 張り紙をすることで地域の方々にご利用されている様子が見られた。お買い物帰りの主婦やご高齢の方などいらっしゃった。また事業所のパンフなど掲示物にも目をやる姿もあり少しずつ環境の改善がなされていると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 以前はカーテンが閉まっている事が多く何をしているかわからなかったが開ける機会が増えたことにより作品が見えたり中の様子や雰囲気わかるようになった。 玄関エントランスに他の事業所の広告があり、公平性もあり良いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して玄関前のエントランスを地域開放するとともに掲示板には様々な情報（福祉・活動等）掲示し地域に開放した施設を目指す。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き地域行事への参加を行っていくとともに様々なスタッフが関わられるようシフト等の調整を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は天候やご利用者さんの状況もありなかなか参加することができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方々が無言に相談窓口として事業所に来れるように工夫やアピールが必要だとも思います。その為にもっと周りの町会などへも情報を発信していくと良いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き地域行事への参加を行っていくとともに様々なスタッフが関わられるようシフト等の調整を行っていく。 定期的に施設での活動を掲示板などで掲示し地域に知ってもらうことで、来園しやすい環境を作っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 地域の情報や資源を知る為に利用者と一緒に地域資源の活用や地域活動へ積極的に参加していく。 利用者知りえた情報を元にエコマップを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のイベントや資源活用等、状況に合わせて行ったがご利用者の増加に伴いサービス量などが増え施設内で完結しようとしてしまい充実な取り組みができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のイベントに参加されていたと思う。 天候や利用者様の状況で参加できない行事もあったがよくやっていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も地域での活動を継続しながら、更に関わりを深めていく。 可能な限り全員が参加できるように計画を立てて取り組む。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> 会議に交代で参加できるよう調整します。 情報共有が出来るよう議事録に確認欄を設け共有に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> シフトの関係もあり固定したメンバーのみの参加となってしまったが議事録を連絡ノートでお知らせすることで情報共有がなされた。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎回、参加するメンバーについては変える事が難しいと思うので連絡ノートなので情報共有が出来ていればいいのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議で得た情報などの共有を深め、さらにその理解を高め活用できるようにする。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き地域の消防訓練や自社の消防計画も元に継続した活動を行っていきます。また建物全体の消防訓練も計画（年1～2回）していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防計画の中で実施することができた。しかし建物全体としての訓練が出来なかった。消防の査察にて非常口に荷物が置いてあることの指摘を受けた。（改善済） 	<ul style="list-style-type: none"> 様々、事業があるので全体で行う事は難しいですね。 非常口などに荷物を置かない様になりましたね。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き年2回は総合訓練を実施する。 建物全体的な訓練の実施できるように計画を立てて行う。 防災計画を掲示していく。